

学校じまん 高等学校編 第2回 愛知県立鳴海高等学校



特徴的な校章

4月21日、編集委員など5名で鳴海高校を訪問し、加藤校長先生、濱砂教頭先生にお話を伺いました。学校は名鉄左京山駅から徒歩5分、学習環境に恵まれた、緑豊かで静かな丘の上にあります。

◆学校のあらまし

昭和51(1976)年、全日制課程普通科として開校しました。「鳴海高校10周年記念誌」によると、地元住民が県立高校誘致委員会を結成し2年間にわたり陳情活動を展開して誕生した、と書かれています。現在、1年生と3年生が8クラス、2年生が7クラス、生徒数は909名です。自転車、徒歩通学生が6割弱、名鉄利用生徒が4割強、大変通学しやすい学校です。校章には波と浜千鳥があしらわれています。鳴海潟の海岸線は現在の陸地より入り込んでいて、古来千鳥の名所でした。江戸時代、芭蕉は鳴海で千鳥の俳句を詠んでいます。



天翔祭

◆教育目標

校訓は、「成(なす)」。じっくり考え、判断し、実践する。スクール・ポリシーには、目指す生徒像として、幅広い知識や教養、自ら考え、判断し、実践する力を身につけ、自他の命や考え方を大切にすることができる生徒、とあります。

◆学校生活

体育・文化の総合発表の場である天翔祭は、生徒会活動最大の行事で、8ブロックに学年縦割りで学年を超えて組織・運営され貴重な体験が生み出されています。部活動は23部活と多岐に渡っていますが、その中には馬術、フェンシング、箏曲など県下で実施している高校が少ない部活があります。馬術部は近くにある中京競馬場で練習を行っています。馬術部、フェンシング部とも東海大会・県大会では好成績を収めています。箏曲部は県大会において奨励賞に選ばれています。



一粒の種まき

総合的な探究の時間ではキャリア教育として「一粒の種まき」などを実施しています。多種の職業人を講師に招き話を聞いて多様な職業観を育てています。

◆地域とのつながり

例年12月、冬休み期間中に名古屋セントラルライオンズクラブと合同で大高緑地公園の清掃ボランティアを実施しています。また、名古屋市青少年宿泊センター主催の小学生実験教室などに、教員や自然科学部の生徒が講師やボランティアスタッフとして参加しています。コロナ禍以前は年2~3回参加していましたが現在は実施されていません。



馬術部

ふれあいコーナー



園芸部では、フーセンカズラとヘチマについて種と育て方のパンフレットを配りました。「面白そうね」と喜ばれました。

「ねえちょっと聞いてよ」オレンジポストより

ユメリア区民フラザに来ると季節の飾りつけがしてあって楽しくなります。

1歳の娘も来る度に「わー!!」と喜んでいました。

ツリーはたくさんの飾りもあって大喜びでした。

2021年12月17日 ペンネームかんかんさんより

お手紙ありがとうございました。今後も皆様に親しまれる飾りつけを企画していきます。